

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目	基本目標	04
	中項目	基本施策	03
	小項目	施策	01
事務事業名	05	観光施設整備事業	
根拠法令・例規等			
問	担当課(室)	商工観光課	
合	職・氏名	観光係長 金藤 康樹	
先	電話	64-1832(274)	
	このシート作成に要した時間	4.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光客
目的(何のために)	観光資源を活かすために、有効な観光施設を整備し誘客を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光施設的环境整備

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	夕立受山等整備事業	既存、新規の観光施設の整備等。今年度は伊部駅南ふるさと交流センター駐車場の整備工事(9,198,000円)、伝統産業会館トイレの改修工事(1,220,100円)の実施	
	海水浴場整備事業	観光客、地域住民にきれいな海水浴場で楽しんでいただくため、頭島外輪、大多府島宮ノ下、鴻島亀の浦海水浴場の砂浜を敷き均し整備する。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		556	8,838	11,038	
	必要人員(人件費)	千円	0.05人	475	0.04人	384
	事業費		1,031	9,222	11,138	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他( )			5,286		
	一般財源		1,031	3,936	11,138	
	受益者負担比率	%	-	-	-	
	結果指標名	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
観光施設整備箇所数	説明					
結果指標量	事業	3	1	3		
対前年比	%		33.3%	300.0%		
活動コスト		1,021,000	9,263,000	11,138,000		
単位当たりコスト	円	340,333	9,263,000	3,712,667		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
観光施設整備箇所数	目標値(A)	1以上	1以上	1以上	1以上
	実績値(B)	3	1	3	到達目標値
	達成率(B/A)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	適正年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
観光施設の適正な整備					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E>  <b>C</b>
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E>  <b>C</b>
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E>  <b>C</b>
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	費用対効果を考えながら、計画的に事業を進めて行く必要がある。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
観光資源を有効に生かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。施設整備は計画性を持って年次的に進めて現状維持以上に保つ必要がある。	評価区分 <A~E>	<b>C</b>

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	施設整備は年次的に進める必要がある。					

Action